

請願第15号	受理年月日	令和2年6月3日
付託委員会	環境水道委員会	
件名	家庭ごみの指定袋をレジ袋の代用品として使用することについて	
要旨	<p>近年、プラスチックごみの増加は世界各国で深刻化しており、問題として認識されながらも世界中でふえ続けている。プラスチックごみによって、私たちの生活は脅かされる寸前まで来ている。</p> <p>北九州市でプラスチックごみとして多く廃棄されているものはレジ袋である。そこで、家庭ごみの指定袋を買い物時のレジ袋の代用品にすれば、消費者はレジ袋を家庭ごみの指定袋として再利用することが可能となる。</p> <p>この提案をより実現しやすくするためには、消費者の需要に合ったゴミ袋のサイズが必要である。そこで、家庭ごみの指定袋のサイズに、新たに容量5リットルの特々小サイズを設けることを求める。そのサイズはコンビニエンスストアでもらえるレジ袋のサイズが理想と考える。また、特々小サイズを設けることで従来からあった、出すごみの量が少ない一人暮らしやお年寄りの方の需要も同時に満たすことが可能になるなどメリットも多い。</p> <p>北九州市は、SDGs未来都市かつ自治体SDGsモデル事業として国から選定され、日本で初めてエコタウンに認定された地域の一つでもある。しかし、家庭ごみのリサイクル率は近年横ばい傾向で、全国的に見てもあまり高い水準とはいえないのが現状である。</p> <p>この現状を脱却するためにも、北九州市は先駆けてこの問題に取り組むべきと考え、次の内容を請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 レジ袋を廃止し、代用品として有料の家庭ごみの指定袋を使用すること。 2 新たに5リットルの特々小サイズの家庭ごみの指定袋を導入すること。 	

3 家庭ごみの指定袋のサイズ交換制を導入すること。